

「八戸LNG輸入基地」を中心とする天然ガス・LNG供給計画について

記者各位

当社(社長:西尾進路)は、青森県八戸港河原木地区ポートアイランド(以下、「ポートアイランド」)にLNG輸入基地(以下、「八戸LNG輸入基地」)を建設することを決定するとともに、同輸入基地の二次基地として、当社釧路西港油槽所跡地に北海道ガス株式会社と共同で内航船受入基地(以下、「釧路LNG基地」)の建設について検討を開始しましたので、お知らせいたします。

併せて、「八戸LNG輸入基地」向けのLNG調達について、米国シェブロン社のオーストラリア子会社(以下「シェブロン社」)と「LNG売買に係る基本合意書」(HOA: Heads of Agreement)を締結しましたのでお知らせいたします。

当社は2007年3月、八戸市にLNG内航船受入基地「八戸LNG基地」を建設し、北東北3県(青森、岩手、秋田)に天然ガスとLNGを供給してまいりました。

「八戸LNG輸入基地」は、今後も同地域において産業用を中心に需要増加が見込まれることに加え、さらなる供給エリアの拡大に対応すべく、ポートアイランドに建設するものです。

ポートアイランドは、青森県が八戸港の長期的な整備方針を取りまとめた「八戸港港湾計画」において、北東北のエネルギー供給拠点と位置付けられており、当社は今後、青森県および八戸市と「事業所開設に係る基本協定書(立地協定書)」を締結のうえ具体的な協議・手続きを進め、2010年度には基地建設に着手し、2015年4月に運転を開始する予定です。

また、「釧路LNG基地」は、天然ガス・LNG需要が見込まれる道東地域向けに、八戸LNG輸入基地から受け入れるLNGを供給する拠点とするものです。現在、石狩市でLNG輸入基地の建設を進める北海道ガス株式会社と共同で、その建設・運営ならびに両社輸入基地からの内航船によるLNG供給方法について検討を進めてまいります。

また、これに併せ、シェブロン社がオペレーターとして西オーストラリア州で開発を進めるゴーゴン・プロジェクトより、年間30万トンのLNGを購入することについて基本合意に至りました。今後は、シェブロン社と取引の詳細を定める契約の締結に向けて協議を進めてまいります。

当社は、今後とも総合エネルギー企業として、環境特性に優れた天然ガス・LNGの普及と、その事業展開を通じた地域振興に貢献してまいります。

記

【計画の概要】

1. 「八戸LNG輸入基地」の概要

- ・建設場所: 青森県八戸港河原木地区ポートアイランド
- ・敷地面積: 11.4万m² (予定)
- ・主要設備: LNGタンク(14万KL×2基)、LNG外航船受入設備、LNG内航船出荷設備、天然ガス気化設備、タンクローリー出荷設備 等
- ・運転開始: 2015年4月(予定)

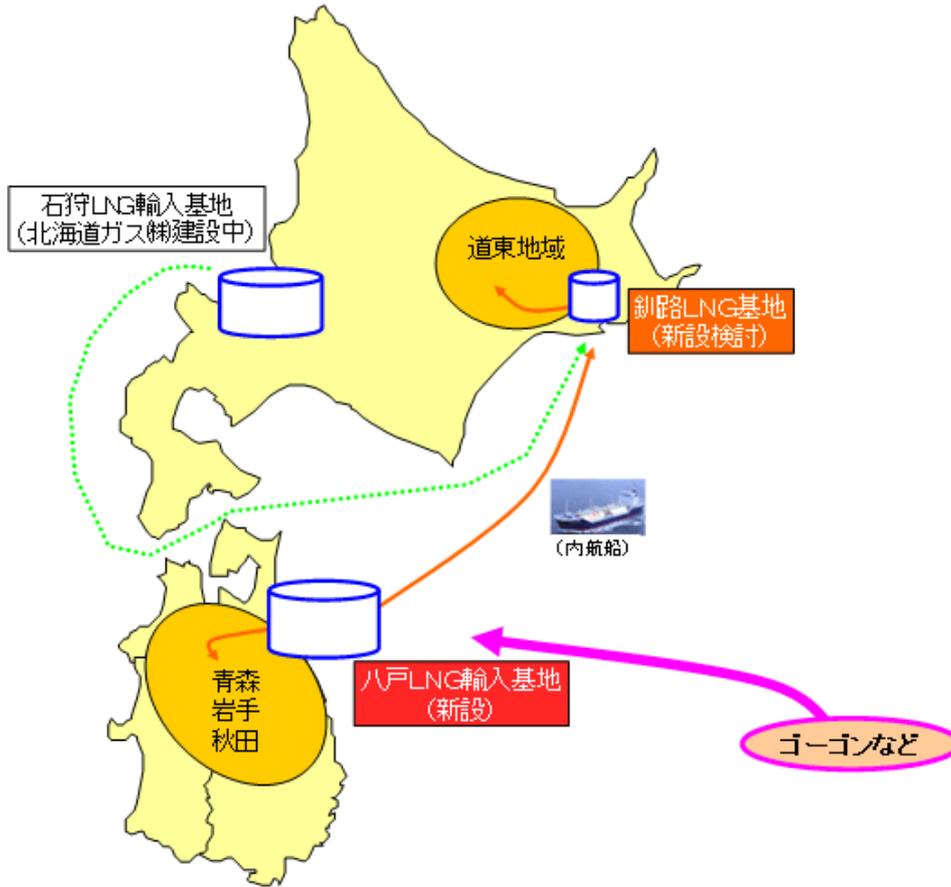
2. 「釧路LNG基地」の検討概要

- ・建設場所: 新日本石油釧路西港油槽所跡地(北海道釧路市)
- ・敷地面積: 4.5万m²
- ・主要設備: LNGタンク、LNG内航船受入設備、天然ガス気化設備、タンクローリー出荷設備 等
- ・運転開始: 未定

3. シェブロン社と締結した基本合意書(HOA)の概要

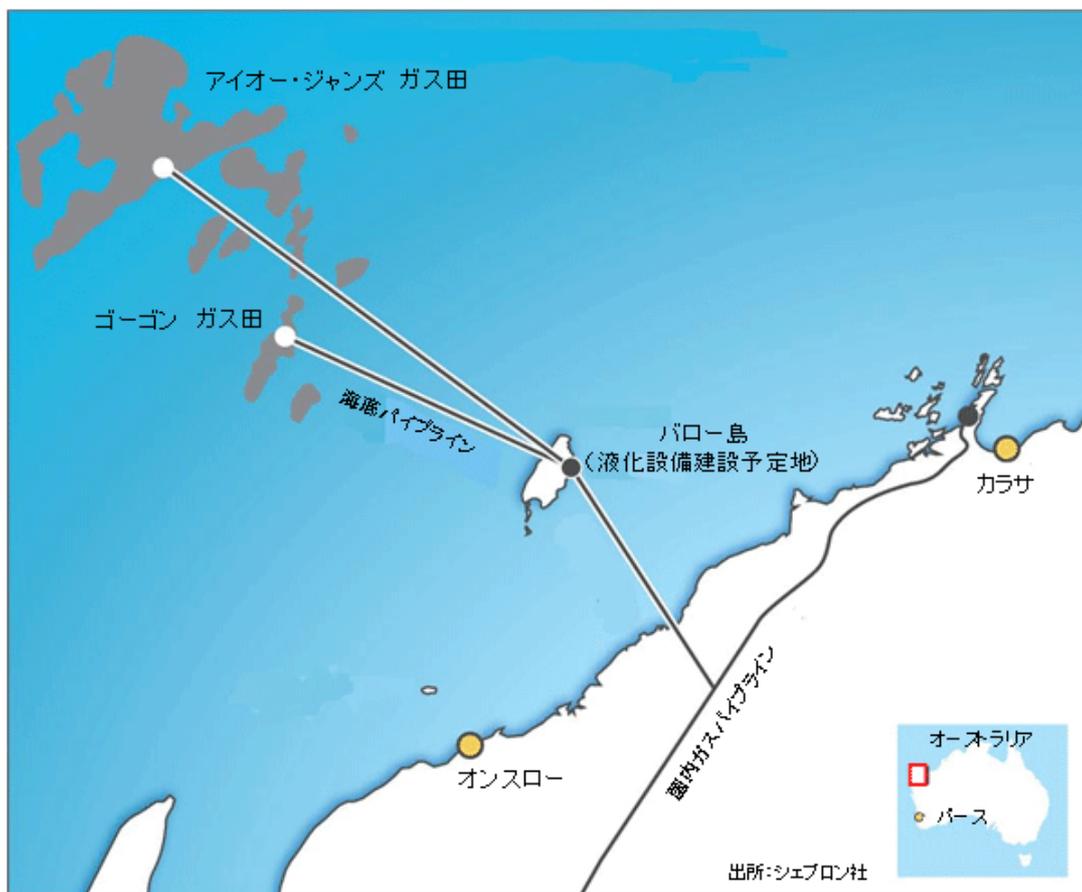
- ・売主: シェブロン・オーストラリア社 (Chevron Australia Pty Ltd)
シェブロンTAPL社 (Chevron (TAPL) Australia Pty Ltd)
- ・買主: 新日本石油株式会社
- ・締結日: 2009年12月15日
- ・契約期間: 2015年(予定)から15年間
- ・契約数量: 30万トン/年

【北東北地域と北海道東地域におけるLNG供給イメージ】



【ゴーゴンLNGプロジェクトの概要】

- ・ガス田位置 : 西オーストラリア州北西部沖合
- ・液化基地予定地: パロー島
- ・液化能力 : 1,500万トン/年 (500万トン×3トレイン)
- ・生産開始時期 : 2014年(予定)



<参考>

「八戸LNG基地」(2007年3月1日運転開始)の概要

- ・所在地 : 青森県八戸市大字河原木字宇兵衛河原8番3号
- ・敷地面積: 約2万m²
- ・主要設備: 貯蔵設備 LNGタンク(4,500KL×1基)、受入設備 専用岸壁(全長150m)
気化設備(毎時2t×4基)、LNGローリー積載ゲート×3レーン
- ・供給能力: 年間約6万トン

以上